いたばし区文化財

ぶらり れきしさんぽ

かみいたばし



板橋区教育委員会



裏表紙画像：1955 年（昭和 30 年）の石神井川と桜（所蔵：板橋区公文書館）

もくじ

ページ 3　上板橋のむかしといま

ページ 5　はっけん！川の近くから大むかしの人の石の道具・土の道具

ページ 7　川にそって　上板橋を見守るお寺・神社

ページ 11　お城とお城をつなぐ道

ページ 13　「まつりばやし」今も伝わる江戸の音楽

ページ 15　東京と埼玉をつなぐ鉄道

上板橋には、大むかしから、人がいました。
大むかしの人がいたところは、
水や、舟があれば遠くにも行けてべんりな**石神井川**の近く。

だんだん、時代がすすむと
物を運んだり、もっと遠くへ行ったりするために
道（川越街道）や**鉄道**（今の東武東上線）ができてきます。
道・鉄道のまわりに、たくさんの人が集まって
まちが大きくなっていきました。

つまり、上板橋は川・道・鉄道によってできたまち。
ここでは、上板橋の大むかしからいままでをしょうかいします。

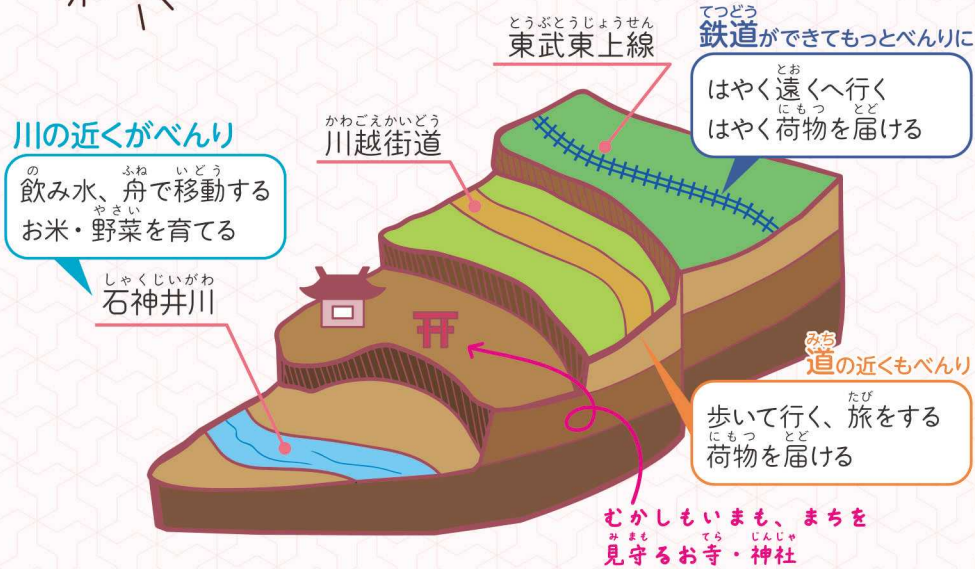
上板橋のむかしといま
～川・道・鉄道と人びとのくらし～

上板橋エリアには、**石神井川・川越街道・東武東上線**（むかしの名まえ：東上鉄道）があるまち。**川・道・鉄道**は、むかしもいまも、人びとが安全に、べんりにくらすために大事なものです。

川は「水」を使うため、**道・鉄道**は「遠くへ行く」「荷物を届ける」ため、むかしから、わたしたちのくらしを支えてきたものが、ここにはそろっています。



上板橋エリアの「むかし」から「いま」までの重なりをみてみよう！



ここがすごい！

上板橋エリアは**川・道・鉄道**といっしょに、「むかし」から「いま」までが、だんだん重なってできたまち。いまでも、むかしからあるものがのこっています。

わたしたちがくらす地面の下には「大むかしのくらしのあと」、近所には古いお寺・神社、お祭できこえる笛・太こ、駅のまわりのまちなみ…。

上板橋の**川・道・鉄道**と、「まちのできかた」をたどってみましょう。

むかし

サバイバルの時代

お米作りの時代

お寺・神社の時代

旅ブームの時代

鉄道の時代

いま

上板橋エリア

石神井川の近くでキャンプ
茂呂遺跡…石の道具・土の道具

石神井川の近くに家をつくる、村ができる
根ノ上遺跡…大むかしのムラのあと・道具



●人がふえて村ができる
●お寺・神社ができる



●お城とお城をつなぐ道（川越街道）
●たくさんの人が旅をする時代
●道にそって旅人用のお店・休む場所

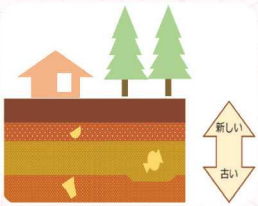


●東京と埼玉をつなぐ鉄道（今の東武東上線）と駅
●モノ・人がたくさん移動

つぎのページから
くわしくみてみよう

はっけん！川の近くから大むかしの人の石の道具・土の道具

地面の下から大むかしの道具・家のあとが！



みなさんがくらす地面の下には、むかしの人が作った道具や、建物のあとが埋まっています。これを、遺跡といいます。遺跡がよく見つかる場所は、川の近く。むかしの人も、生きるために水が必要で、川の近くはとても住みやすかったのです。

大むかしの人の
石の道具をはっけん！

茂呂遺跡



1951年（昭和26年）撮影



2026年（令和8年）撮影

リーフレット「茂呂遺跡」（板橋区教育委員会 2019）



土をほって地面の下を調べたら…



見つかった黒色のガラスでできたナイフ
（所蔵：明治大学博物館）

マップ
イー4

サバイバルの時代

はっけん！

- 食べものを焼くために集めた石
- 黒色の天然のガラス（黒よう石）で作ったナイフ

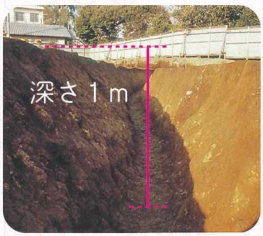
ここがすごい！

大むかし、今よりもずっと寒くて、日本が大陸とつながっていたころ、人が暮らしていたあとが発見された場所。この発見は、なんと日本列島で２番目！

お米を作りはじめた時代
ムラのまわりに大きなみぞ？

根ノ上遺跡（ねのかみいせき）













今は…
むかしの家の形をのこした
公園（根ノ上遺跡緑地）

マップ
ウー６

●大きなみぞで囲まれたムラ
●大むかしの人が使った道具・住んでいた家のあと

大むかしの人が、「ここでどんなふうにくらしていたか？」を考えるための、大事な手がかりがたくさん！

サバイバル生活も、お米作りも、水・川が大切…

サバイバルの時代

お米作りの時代

川にそって上板橋を見守るお寺・神社

水をもとめて、石神井川の近くにたくさんの人が集まって、村ができました。村の人たちは、くらしの安全や豊作など、いろいろな願いや感謝を、仏さまや神さまに伝えるため、お寺や神社を建てたのです。



上板橋エリアのむかしのようす



上板橋のお寺といえば 安養院

今から800年ほど前にできた安養院。
建て直すとき、えらい武士が手伝ったそう。
上板橋の人たちが大事にしてきたお寺です。

● 火事や戦争ものりこえた かね

今から300年以上前につくられたかね。
一度ヒビ割れてしまい、またつくり直されました。
戦争のときも、こわされず、今も使われています。



安養院　銅鐘

マップ
イー3

お寺・神社の時代

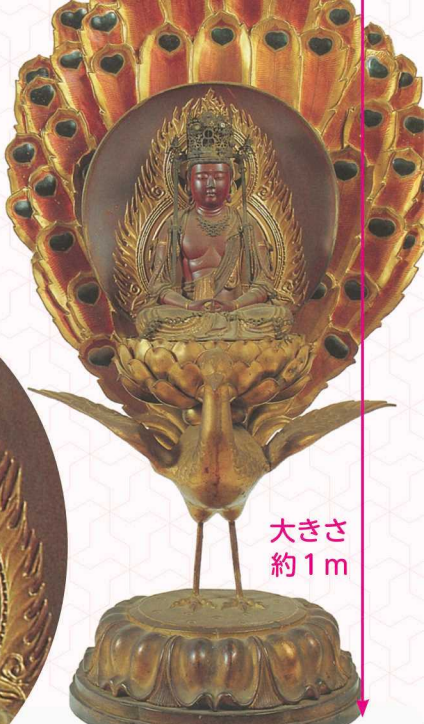
ここがすごい！

- えらい武士とつながりがあったお寺
- 上板橋の人たちが大事にしてきた宝物がたくさん！

● 金色のクジャクにのった赤い仏さま

仏さまは、お気に入りの動物にのっていることがあります。
安養院の仏さまがのっているのは、金色のクジャク。
仏さまの体は宝石のルビーのような赤色！





● 和風だけど ちょっと洋風の おしゃれなお家

120年前は千代田区にあった、もとおとのさまのおやしき。
りっぱな建物で、昔の大工さんが上手につくったことがわかります。







本を読んで調べよう！

板橋区でココだけ！

みたけ神社

青梅の山からおりてきた「お犬さま」

板橋区桜川 1-4

東京都青梅市にあるみたけ神社とつながりがあります。この神社の神さまの使いはオオカミ（山犬）。だから神社を守る２ひきのこまいぬはオオカミの姿。



オオカミの姿のこまいぬ

古いこまいぬは 170 年前のもの！

ときわ台天祖神社

川越街道・まちを見守る

板橋区南常盤台 2-4

川越街道をとおる人や、神社のまわりに住む人がどんどんふえていくとき、学校・駅・まちづくりをとおして、ずっと地域を支えてきました。「ときわ台駅」「常盤台住宅」の名まえの由来にもなっています。





天祖神社の絵馬
（所蔵：ときわ台天祖神社）



東新町氷川神社

上板橋村の神社

板橋区東新町 2-16

むかし、上板橋村に畑や田んぼがあったころから、村全体を見守ってきた神社。



お供え用のお酒を運ぶための道具



おまいりの旅へ 向原八雲神社

むかいはらやくもじんじゃ

板橋区向原 2-4

むかし、山の神様におまいりする旅・山登りが大流行。旅で使った道具は、向原の人たちの大事な宝物。



大谷口のお寺 西光寺

さいこうじ

板橋区大谷口 2-8

今からおよそ 400 年前、村人が、古くからあったお堂を、大谷口のお寺として建てました。



田んぼを手伝った？ しろかきじぞう

板橋区で一番古い、石のおじぞうさま。おじぞうさまが大谷口の農家の田植えの準備を手伝ったという言い伝えがある。

お寺・神社の時代

お城とお城をつなぐ道

？ 上板橋をとおる道「川越街道」、どうして？なんのためにある？

❶武士がお城をつくる
❷お城とお城をつなぐ道がほしい！



❸江戸と京都、大きな町と町をつなぐだいじな道（街道）をたくさんつくる



道をとおる人がふえる

お店・休む場所がふえてまち（宿）ができる

人がいっぱいいる
食べ物がひつよう…

江戸
＝国をまとめる中心地
- ●江戸城
- ●江戸幕府
- ●大名が江戸でくらすやしき



おまいりの旅でもとおった！

街道

関所
●危険、敵を見張る

宿
- ●休む・食べる
- ●荷物を運ぶための人・馬を借りる

●交通
- ・たくさんの人がとおる
- ・手紙、荷物を早く届ける

川越街道は、江戸と川越をつなぎ、人・モノを安全に運ぶ便利な道



旅人と馬



おとのさまの行列



エプロンのように使う前掛け



方位じしゃく



書く・計算する道具



持ち運び用のお酒入れ

川越街道と石神井川がまじわるところ

下頭橋と六蔵祠

昔、大雨で石神井川があふれ、下頭橋がなんどもこわれました。橋の修理は、上板橋村の仕事。でも、ほかの村も橋がないと困ります。みんなでお金を出しあって、じょうぶな石の橋をかけました。

また、橋の近くで旅人から寄付をもらっていた「六蔵」という人のお金で、石の橋をかけたとも。

橋の名まえの由来はいくつかありますが、川越街道をとおる人が、石神井川をわたるときに必ずとおる、昔も今も、だいじな橋です。







「まつりばやし」今も伝わる江戸の音楽

川越街道がつないだ音楽文化

上板橋の人が、江戸の神田（今の千代田区）で習った「まつりばやし」。上板橋に帰って、まわりの人たちにも広めました。伝とうの音楽も、上板橋の宝物。江戸に行ける道「川越街道」があったから、江戸の音楽文化が伝わりました。





♪お祭りを盛り上げる！



ときわ台天祖神社の祭礼でお囃子を奉納



ときわ台天祖神社の祭礼

マップ
エー3

旅ブームの時代

江戸の音楽「まつりばやし」

むかしの人もきいていた、江戸のお祭りの音「まつりばやし」。太こ・笛の音で、お祭りや、おみこしを盛り上げます。神さまのための音楽です。

ここがすごい！

「リズム」「楽器の使い方」を、口伝えで、150年伝え続けている

楽器
- ●大太こ …1
- ●しめ太こ …2
- ●笛※1 …1
- ●かね※2 …1

（五人ばやし）

※1：音が、鳥のトンビの鳴き声ににているので「トンビ」ともいいます。
※2：4つの楽器をサポートするので「四助（よすけ）」ともいいます。





弥生囃子と祭列の行列



板橋区のイベントにも出演！

マップ オー4

旅ブームの時代

写真でみる東京と埼玉をつなぐ鉄道

だんだん、複ざつな技じゅつが使えるようになって、上板橋にも鉄道や駅をつくることになりました。それが東上鉄道（今の東武東上線）です。

●東上鉄道（今の東武東上線）ができたときのルート

田面沢駅（今の川越市内）・・・・上板橋駅―池袋駅

上板橋駅ができたころ



1950年（昭和25年）の上板橋駅
『「時代を紡ぐ」総集編』（板橋区教育委員会2022）より転載



1963年（昭和38年）のときわ台駅
（所蔵：板橋区公文書館）

同じころ…



1956年（昭和40年）の上板橋駅南口商店街
（所蔵：板橋区公文書館）



東上線の下をくぐる工事中の環状七号線
（所蔵：板橋区公文書館）



1927年（昭和2年）の上板橋村役場
（所蔵：板橋区立郷土資料館）



2026年（令和8年）の
上板橋村役場跡地と門柱

地域を支えていた場所

上板橋村役場

村役場は、さいしょは安養院にありました。お寺が村の中心だったからです。村役場のあと地には、門の柱が今も残っています。

創立150年！上板橋小学校

1876年（明治9年）に始まった上板橋小学校。2026年に創立150年をむかえました。さいしょは安養院の近くのお堂を校舎のかわりにしていました。上板橋村（今の上板橋エリアのほぼ全て）の子どもたちが、通っていたのです。

上板橋小学校のはじまり



1913年（大正2年）の卒業生と校舎
（所蔵：上板橋小学校）

和服の人も洋服の人も…

10年後…



一九二四年（大正一三年）の校舎（所蔵：上板橋小学校）



1964年（昭和39年）の校舎と正門（今の南門）
（所蔵：上板橋小学校）



戦争の記憶を忘れない

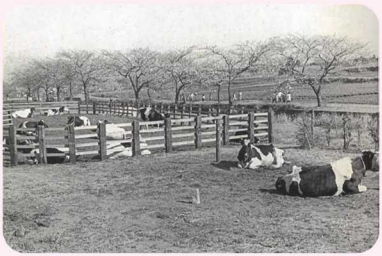
1945年（昭和20年）6月10日のくうしゅうで、今の南常盤台・東新町にばくだんが落とされました。亡くなった方を思い、平和を願ってたてられたお地蔵さまです。

マップ
エー4

鉄道の時代

石神井川の近くに牧場が…！

石神井川沿いは、水と土地があったので、牧場がたくさんありました。
戦争が終わってすぐ、板橋区では、牛乳を売るため、一部の農家に、東京都から牛（乳牛）の貸し出しが行われていました。
牛がいた農家は約60軒、牛は約600頭もいたのです。



1958年（昭和33年）の
石神井川の桜と牧場（所蔵：板橋区公文書館）

見たことあるものはあるかな？

マップ イー3



御嶽神社の狛犬

青梅の山から
おりてきた「お犬さま」

マップ エー3



ときわ台天祖神社

まちと、川越街道と、鉄道とともに

マップ イー4



安養院紅頗梨色釈迦如来坐像

金色のクジャクにのった
赤い仏さま

マップ イー4



茂呂遺跡の
茂呂型ナイフ形石器

大むかしの人の
石の道具！

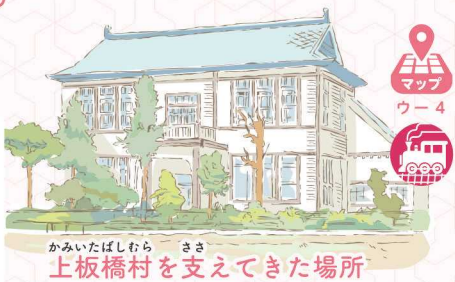
マップ エー3



神田流神明囃子

今も伝わる江戸の音楽

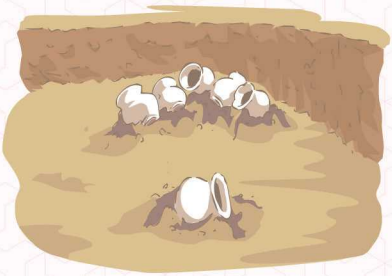
マップ ウー4



旧上板橋村役場

上板橋村を支えてきた場所

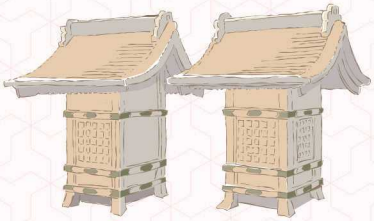
マップ ウー6



根ノ上遺跡

V字のみぞがある村からはっけん！
大むかしの人の土の道具！

マップ ウー7



向原八雲神社御神酒枠

山へ登るおまいりの旅

まだ見たことないものはどれかな？

常盤台住宅クルドサック

マップ エー3



駅から広がる、緑と小路で
クルっとつないだ街並み

帝都幼稚園

マップ オー3



帝都幼稚園　付門柱

レトロな門の向こうにある
歴史ある学び舎

ときわ台駅

マップ エー3



道が集まるレトロな駅

空襲犠牲者供養の地蔵（平安地蔵）

マップ ウー3



戦争の時代を
忘れない

神田流弥生囃子

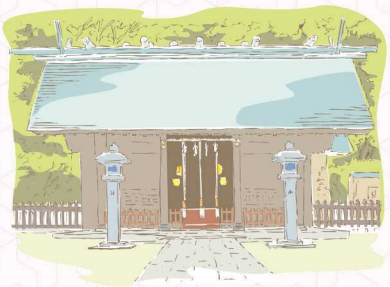
マップ オー4



今も伝わる江戸の音楽

東新町氷川神社

マップ ウー4



上板橋村を見守る神社

西光寺しろかき地蔵

マップ エー4



田んぼの仕事を手伝った
おじぞうさま



スマホでとってね！

いたばし文化財ふれあいウィーク2026
いたばし区文化財
ぶらり
れきしさんぽ
かみいたばし

発行　板橋区教育委員会
　　生涯学習課文化財係
印刷　明誠企画株式会社

令和8年10月16日　発行
刊行物番号　R08-54